

伝統ある小学校の歴史を未来へつなぐ

地域と共に歩いた学校の軌跡

明治5年に開校した添田小学校から始まる町内各小学校の歴史。令和7年4月、新しい添田小学校の開校により閉校を迎える添田小学校・中元寺小学校・落合小学校・津野小学校・真木小学校が、その誕生から現在まで児童や地域と歩んできた道を振り返ります。

学

制が明治5年8月に公布されると、その年の11月に添田村の法光寺を仮校舎として尋思校が開かれまし
た。添田小学校の前身となる
学校です。添田小学校は建て
替えと移転を行い、昭和33年
には各学年に約10クラス、児
童数3155人を数える全国
でも有数の大規模校となりま
す。炭鉱の閉山とともに児童
数は減少していきますが、町
内随一の卒業生を誇ります。

本

町にある他の小学校の
歴史も古く、中元寺
地区では明治初期まで民家で
わずかな読み書き算段を教え
る寺子屋教育が行われていま
したが、明治11年、上中元寺
と下中元寺の境に位置する田
中組にあった草葺きの民家を

校舎にして学校教育を始めた
のが中元寺小学校の始まりで
す。中元寺校区では剣道が盛
んで、昭和10年には大日本武
徳会全国少年剣道大会で全国
優勝を成し遂げています。

落

合地区では上落合村、
下落合村、榎田村と3
村がそれぞれ独立していまし
たが、明治9年、3村が連合
して下落合地区に校舎を建築
し、落合小学校が開校しまし
た。落合小学校では忘れるこ
とができない戦災が発生しま
す。第2次世界大戦後の昭和
20年11月12日の午後、二又ト
ンネルに格納されていた旧陸
軍の火薬が敗戦によって不要
となったため、占領軍が焼却
処分しようと火薬に点火した
ことから、山が吹き飛ぶほど

しました。

古

河太峰鉱業などがあ
り、炭鉱景観で活気に
溢れていた真木地区で昭和34
年に開校した真木小学校。開
校時に児童数341人でスタート
した真木小学校は昭和44年の
大峰炭鉱閉山後に78人まで減
少します。この頃、体育館建
設問題に端を発した真木小学
校を廃止し添田小学校へ統合
しようとする『真木小統廃合
問題』が起こります。しかし、
校区住民の真木小存続希望
が極めて強く、校区あげての
猛反対運動により統廃合は実
現に至らず、地域の学校とし
て子どもたちを育み続けまし
た。

明

治の時代から地域と共
に歩んできた添田町の
小学校。人口減少に伴って児
童数の減少が続くとともに、
近年、教育環境が大きく変化
してきました。児童の能力を
伸ばしつつ、社会的自立の基
礎、国家・社会の形成者とし
ての基本的資質を養うことを
目的とする義務教育段階では
「集団規模の確保」が重要とな

ります。少人数学校では、様々
な学習方法に取り組んでいま
すが、集団での学習や生活が
難しい状況です。集団の中で
多様な考えに触れ、認め合い、
協力し合い、切磋琢磨するこ
とを通じて、思考力や表現力、
判断力、問題解決能力などを
育み、社会性や規範意識を身
に付けることが重要です。

本

町はこれまで「地域と
共に子どもを育てよ
う」という考えの基、家庭・
地域・学校・行政が一つになっ
て進んできました。急激なス
ピードで変わる時代の潮流の
中でも、家庭や地域の皆さん
の支えで、変化に対応できる
柔軟な児童を育み、送り出す
ことが出来てきました。4月
に誕生した新添田小学校は、
ふるさと添田町を愛し、夢・
希望を実現するかしこさとた
くましさを兼ね備えた、人間
性豊かな心を持つ子どもの育
成に励みます。日本の、添田
町の未来を担う児童に対し
て、引き続き皆さんの変わら
ぬご支援・ご協力をよろしく
お願いします。

添田小学校・中元寺小学校・ 落合小学校・津野小学校・真木小学校の軌跡

明治5年	【添田】添田小学校の基となる尋思校が開校
明治6年	【津野】下津野小学校が開校
明治7年	【津野】上津野小学校が開校
明治9年	【落合】下落合村で落合小学校開校
	【添田】旧小倉藩社倉（現在の旧添田小学校地）に移転
明治11年	【中元寺】中元寺小学校が開校
明治17年	【中元寺】大敷分教場を設置
明治20年	【中元寺】大敷分教場を廃止
明治26年	【落合】上落合村に校舎新築
明治27年	【中元寺】大敷分教場を再設置
明治45年	【添田】小学校を南北に分離
大正6年	【津野】上・下津野小学校が合併し津野尋常高等小学校と改称
大正10年	【中元寺】校舎新築・移転
大正11年	【落合】彦山村大字落合に校舎新築移転
昭和6年	【添田】南北小学校を合併し、添田尋常高等小学校と改称
昭和12年	【中元寺】旧三崎地区に上添田炭鉱が開設。児童数が急増
昭和20年	【添田】火災により校舎4棟が消失
	【落合】児童29人を含む被災死亡者147人の大惨事となった二又トンネル爆発事故発生
昭和22年	各々が現在の学校名に改称
昭和27年	【添田】木造校舎を新築
昭和28年	【中元寺】現在の旧中元寺小学校地に木造校舎を新築
昭和30年	【津野】添田町と津野村が合併し、添田町立小学校となる
昭和31年	【中元寺】上添田炭鉱閉山により児童数激減
昭和32年	【落合】現在の旧落合小学校地に校舎を新築
昭和33年	【添田】児童数が3155人となり全国でも有数の大規模校となる
昭和34年	【真木】真木小学校開校
	【中元寺】大蔵大臣よりこども銀行優良校表彰を受ける
昭和44年	【中元寺】大敷分校を閉校し本校に統合
昭和46年	【津野】油木ダム建設により校舎を埋金地区に新築
昭和47年	【津野】上津野分校を閉校し本校に統合
昭和54年	【真木】統廃合問題に対する反対運動
昭和55年	【添田】校舎新築
昭和56年	【真木】校舎新築
	【中元寺】校舎新築
	【落合】校舎新築
昭和63年	【真木】真木小トランペット鼓隊を編成
平成4年	【津野】山村留学生制度実施
平成14年	【落合】英彦山小学校閉校により落合小に統合
平成22年	【津野】山村留学休止
平成24年	【落合】九州北部豪雨で被災
令和4年	【津野】児童数の減少により休校
	【真木】真木小トランペット鼓隊を解散
令和5年	【落合】令和5年7月豪雨で被災
令和7年	添田小学校・中元寺小学校・落合小学校・津野小学校・真木小学校、3月31日をもって閉校